

平成 27 年 11 月 30 日
国立情報学研究所
学術コンテンツ課

平成 28 年度活動計画（案）

第 5 期基本方針のもと、平成 28 年度は次のプロジェクトを実施する。

（１）SPARC Japan セミナー 2. ①②への対応

アドボカシー活動として、SPARC Japan セミナーを 4 回実施する。企画ワーキングを設置し、年間テーマを策定の上、年間テーマに沿って、各回の企画・実施を行う。ニューズレターについては速報性を重視し、セミナー開催に合わせて企画担当者が A4 裏表程度のチラシを作成し、ウェブ配信する。

（２）海外動向調査 2. ③④への対応

2016 年に予定されている下記の国際会議に参加し、情報収集を行う。

- ・ COAR (Confederation of Open Access Repositories) Annual Meeting 2016
2016.4.12-13 (ウィーン)
- ・ ORCID (Open Researcher and Contributor ID) 理事会
- ・ RDA (Research Data Alliance) Plenary Meeting 8 2016 秋 (米国)
- ・ OR2016 (The 11th Annual International Conference on Open Repositories)
2016.6.13-17 (ダブリン)

（３）SCOAP³ 支援 2. ①②への対応

2014-2016 年について SCOAP³に係る日本のとりまとめを行う。また次期（2017-2019 年）SCOAP³の日本の対応について国公私立大学図書館協力委員会との間で対応を協議する。

（４）arXiv.org 支援 2. ①②への対応

arXiv.org の 2013～2017 年会員制モデルへの参加の意向および連絡先を確認し、arXiv.org の事務局と日本の参加機関との連絡調整を継続する。

（５）CLOCKSS 支援 2. ①②への対応

CLOCKSS の 2016 年会員制モデルへの参加の意向および連絡先を確認し、CLOCKSS の事務局と日本の参加機関との連絡調整を継続する。

(6) 高エネルギー物理学分野の情報サービスに係る国際連携協定への対応 **2.③への対応**

欧州原子核研究機構 (CERN)、高エネルギー加速器研究機構 (KEK) 及び国立情報学研究所 (NII) が締結する高エネルギー物理学分野に関する国際連携協定に基づき、CERN が提供する高エネルギー物理学分野の文献情報サービスである INSPIRE データベースを中心にデータキュレーションの実務に関する共同事業を行う。

(7) SPARC Japan 年報の発行 **2.②④への対応**

SPARC Japan に関するニュースはウェブで広報し、紙媒体による従来の形式のニュースレターは発行しない。その代替として、活動記録のために報告書を発行する。各回のセミナーの記録および基礎情報のまとめ等を整理し、年 1 回の形で発行する。